

研究課題 妊娠糖尿病妊婦の食事療法において分割食に果物を用いた効果
— 血糖値の変化と食事摂取量の比較から —

研究期間

データ収集期間 2016年 7月 1日 ～ 2017年 3月 31日

データ分析期間 2017年 4月 1日 ～ 2018年 3月 31日

研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 栄養部 産婦人科

目的

妊娠糖尿病の食事療法では分割食が推奨されております。当院では今まで分割食の補食としてビスコ・カステラ・バームクーヘンなどの菓子類やおにぎりを利用していましたが、残食率が高いことと糖質過多が課題でありました。今回補食に果物を用い、以前の補食内容を摂取していた妊婦様の血糖値と食事摂取量を比較分析することで、果物の補食利用可否を検証することを目的としています。

方法

この研究は当院産婦人科に妊娠糖尿病で教育入院し、6分割食の食事療法と血糖自己測定を行った妊婦様を比較対象としています。妊婦様の年齢、家族歴、身長、体重、BMI、妊娠週数、食前、食後血糖値、食事摂取量、補食摂取量、採血データの情報を統計学的手法にて分析します。

意義

果物が分割食の補食になり得れば、妊娠糖尿病妊婦様の補食の選択肢が増え、食事療法へのストレス軽減とモチベーション維持に効果があると考えます。また妊娠期必要栄養量の摂取不足改善が期待できます。

個人情報の保護

本研究で得られた結果は貴重な資料として、学会や栄養学雑誌に公表されることがあります。その場合患者様の個人情報は、外部から特定できないように厳重に管理されます。この研究についてさらに詳しい内容を知りたい場合、他の妊娠糖尿病妊婦の患者様の個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画、方法及び結果についての資料を見ることができます。この研究に参加するかどうかは対象となる妊娠糖尿病妊婦の患者様の自由で、研究への参加を断っても不利益を受けることは一切ありません。直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 栄養部 南野 幸生

住所：564-0082 吹田市片山町 2-13-20 電話番号：06-6387-3311 内線 5291

メールアドレス：eiyou@mhp.suita.osaka.jp